

認定基準等チェック表（第1表 相対値基準・小規模法人）

法人名	特定非営利活動法人〇〇〇	実績判定期間	令和5年4月1日～令和7年3月31日
-----	--------------	--------	--------------------

実績判定期間における下欄[3]の㉞欄の金額に占める㉞欄の金額の割合（㉞欄）が、5分の1以上であること	チェック欄	○
--	-------	---

小規模法人の判定

1	実績判定期間の総収入金額 12,000,000 円	× 12 =	㉞ 6,000,000 円
	実績判定期間の月数 24 月		

㉞が800万円未満である	はい	2 へ
	いいえ	小規模法人の例計算・・・適用不可

2

実績判定期間において受け入れた寄附金の合計額が3千円以上の寄附者（役員、社員を除く。）の数が50人以上である	はい	小規模法人の特例計算・・・適用可 3 へ
	いいえ	小規模法人の特例を適用するかどうかは法人の選択となります。

3 小規模法人の特例計算を適用する場合

総収入金額	活動計算書の経常収益計と計上外収益の合計額と一致します。	12,000,000 円
控除金額	国の補助金等の金額（㉞欄に金額の記載がある場合は、記入不可）	㉞ 200,000 円
	委託の対価としての収入で国等から支払われるものの金額	㉞ 円
	法律等の規定に基づく事業で、その対価を国又は地方公共団することとされている場合の負担金額	㉞ 円
	資産の売却収入で臨時的なものの金額	㉞ 0 円
	遺贈により受け入れた金額（受け入れた寄附金は様式12の各欄から転記して下さい。）	㉞ 0 円
	休眠預金等交付金関係助成金【受け入れた寄附金の明細表（第1表付表1相対値基準・小規模法人）㉞欄】	㉞ 0 円
差引金額	（㉞－㉞－㉞－㉞－㉞－㉞－㉞）	㉞ 11,800,000 円

受入寄附金総額【受け入れた寄附金（第1表付表1相対値基準・小規模法人）㉞欄の「（）」】	㉞㉞㉞は様式12の各欄から転記して下さい。	9,000,000 円
控除金額	一者当たり基準限度超過額の合計額【受け入れた寄附金の明細表（第1表付表1相対値基準・小規模法人）㉞欄】	㉞ 700,000 円
	休眠預金等交付金関係助成金【受け入れた寄附金の明細表（第1表付表1相対値基準・小規模法人）㉞欄】	㉞ 0 円
差引金額	（㉞－㉞－㉞）	㉞ 8,300,000 円
会費収入【㉞欄と社員から受け入れた会費の明細表（第1表付表1相対値基準）㉞欄のうちいずれか少ない金額】	様式13㉞の額。	238,625 円
国の補助金等の金額（㉞欄の金額を限度とする）	㉞	0 円
合計金額	（㉞＋㉞＋㉞）	㉞ 8,538,625 円

基準となる割合（㉞÷㉞）	・・・	小数点3位以下は切り捨て。 20%以上で要件を満たします。	72.36%
--------------	-----	----------------------------------	--------

- 注 1 実績判定期間とは、申請書提出の直前に終了した事業年度の末日以前5年（認定を受けたことのない法人の場合は2年）内に終了した各事業年度のうち最も早い事業年度の初日から申請書提出の直前に終了した事業年度の末日までの期間です。
- 2 チェック欄には、この表の各欄の記載を終了し、基準を満たしていることを確認した場合に「○」を記載してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を用いることができる。